

「水土を守る人々」では、農業や農業用水の役割とこれらが持つ多面的機能等が十全に発揮されていくために、農業水利施設等の維持管理を支える人々の日常にスポットを当てて、その取り組みを紹介することで、農業農村整備や多面的機能の発揮が「人」の支えの上に成り立っていることを伝えていきます。
※不定期で掲載いたします。

「香川県下広域にわたる配水管理で地域に貢献」

～香川用水土地改良区管理課 森木 政臣 主任～

香川県高松市

香川用水は、吉野川総合開発計画の一環として早明浦^{さめうら}ダムに水源を求め、都市用水（上水、工水）及び農業用水を香川県下に供給している。このうち、農業用水は年間1億500万m³（東京ドーム約85杯分）、最大11.3m³/sを吉野川から取水し、県下全域（関係市町8市6町）の農地23,670ha（組合員数約60,000人）に配水されている。

香川用水土地改良区は、その農業用水を管理する、受益面積、組合員数ともに全国有数の大規模な土地改良区で、管理区間は農業専用区間の約59kmで分土工は115ヶ所にも及ぶ。

今回紹介する森木政臣さんは、その土地改良区の管理課に在籍し、配水管理・施設管理・土地改良財産管理の業務に携わり、すでに中堅リーダー的役割を担っている。

1. 配水管理の難しさ

吉野川から取水された水は幹線水路に設置された分土工から、ため池に貯留された後、農地へ配水される。「常時の分水操作は、許可水利権量に基づき作成した年間配水計画により行いますが、2～3年の頻度で発生する渇水時の取水制限では気を遣います。具体的には、地域ごとで営農作物やため池の貯水状況が異なっていますので、地元の水利組合と連携して、全ての地域で水に困ることがないよう調整するのが大変です。一方で、感謝の言葉をかけてくださることが喜びにもなります。」と配水管理の難しさを語ってくれた。

2. 施設管理に携わって

香川用水は供用開始後40年が過ぎ、施設の老朽化をはじめ、漏水など突発的な不



モニターを見つめる目
はいつも真剣
香川用水土地改良区
管理課 森木主任



管理は状況に合わせて柔軟に対応

具合も増えてきている。「施設には優先順位を付けて老朽化の著しい箇所から計画的に点検・補修しており、漏水が発生した際には迅速に対応しています。ですが、施設の延命対策は難しいですね。古い施設の部品は製造が中止されることで、補修が難しくなるので、施設の管理の点で悩ましいところです。」と語る。また、周辺の土地の利用形態も年々変化しており、地域住民の用水に対する考え方も変わってきている。「昔は降水量の少ない土地に、水を引くために先人が苦労して作られた香川用水も、今ではあって当然の存在となっています。ですが、吉野川上流の水源となる早明浦ダムのある高知県や、吉野川中流から香川用水に分水する池田ダムのある徳島県への水の恩恵を忘れないようにしています。そのことを地域住民に伝えることが、後々の管理のためにも必要だと考えています。」と語ってくれた。



管理機器の点検の様子

3. 職場の上司から

上司の鹿庭^{かにわ}管理課長は森木主任に絶大な信頼を置いている。「大変真面目で勉強家です。香川用水の施設全般を自主的に整理し、図面を新しく作成するなど関係書類もきちっと整っています。対外的な対応も要点を押さえた的確な説明で、地元からの評判もすごく良いです。施設のことは、私より詳しいですよ。頼りにしています。」と笑顔で話す。また、「小学校対象の出前授業では、彼は先生役として活躍しています。授業では、香川用水の役割や大切さ、施設内のゴミ拾いなどを通じ水路の維持の大変さなどを子どもたちに伝えています。」と語る。

「県内のほとんどが業務地域となっていることから、色々な経験をし、多くを学んで、今後、先頭に立って土地改良区を引っ張ってってもらいたい。」とエールを送った。



出前授業で香川用水の役割を伝える

4. 終わりに

森木主任に今後の目標を訪ねると「農業形態の変化に合わせて業務も少しずつ変わっていくと思うが、経験を積みながら変化に柔軟に対応していきたい。他の職員が困っているときに助けられる、若手から目標にされる職員になりたいですね。また、受益者や関係団体等の方々から頼られる存在になりたいと思っています。」と熱く語ってくれた。

【中国四国農政局農村振興部設計課】